

■ 開講年度	■ 開講学期	■ 開講学部等		
2017	第1クォーター	法文学部人文社会学科		
■ 科目ナンバリング	■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]		
LdG2E-2LTR-398	A12861	フランス言語文化基礎演習II General Seminar on French Language and Culture II		
■ 担当教員[ローマ字表記]				■ 単位数
柳 光子 [YANAGI Mitsuko]				1
■ 授業科目区分	専門教育科目 専門教育科目	■ 対象学生	■ 対象年次	2~2

### 授業題目

フランス文化を読む  
(Reading the French Culture)

### 授業のキーワード

フランス語(French), フランス文化(French Culture), フランス文学(French Literature)

### 授業の目的

フランス語の読解力を高めるとともに、フランス文化についての知識を深め、総合的な語学力を向上させる。

### 授業の到達目標

- (1) 基本的なフランス語を理解し、簡単なフランス語を聞き、話し、読み書きできる（文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」3～4級取得レベル）。
- (2) 辞書を用いればフランスの新聞や雑誌の記事をおよそ読解できる。
- (3) 言葉の表面的な意味をとらえるだけでなく、文化的背景を読み取ることができる。

### ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

社会科学または人文科学の知識を社会における実践力へと高めることができる。  
社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけている。

### 愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる  
様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる

### 授業概要

フランス語圏の文化に関する様々な文章を読み、読解力を養いつつ知識を深めます。受講生の実力や関心に応じて教材は適宜えらんでいきますが、候補としてとりあえず《授業スケジュール》欄に挙げたものを用意しています。

読解力以外の実力養成を目的とする「メディア授業」も数回おこないます。

フランス語文法の確認・解説なども行いますので、読解力向上をめざす学生はもちろん、仏検対策としての受講もお勧めします。仏検事務局の許可を得て、過去の問題で模擬受験できるE-ラーニング教材も用意しています。

なお、必要な場合は、最初の数回を文法の補足・確認作業にあてます。朗読にも適した文章を選びますので、綴り字の読み方や発音の練習も行ない、自信をもってフランス語の文章を音読できるようになります。

## 授業スケジュール

※本演習を履修する場合は、第2クォーターに開講される「フランス言語文化基礎演習II」（担当教員：柳）を同時に履修登録すること。

受講生の学習歴と希望を参考にテキストを選定しますので、各回のスケジュールは授業開始後に決定することになります。候補を幾つか挙げておきます。

文学作品の抜粋（ペローの童話、『星の王子さま』など）  
映画シナリオ（『プチ・ニコラ』『モンテ・ニュ通りのカフェ』など）  
新聞・雑誌等の記事（「フランス語圏の国々」、「映画とブランド」など）  
オペラ台本（『カルメン』『ホフマン物語』など）  
フランスの絵本（「リサとガスパール」「バーバパパ」シリーズなど）

この他、フランスの児童書、著名人の語録、シャンソンの歌詞、フランス料理のメニューやレシピ、観光案内資料、日本の小説やマンガの仏訳版なども考えられます。

これらの内容を8回の授業の間に行います。なお、読解以外のフランス語能力アップを目標とする1～2回の「メディア授業」を実施する予定です。事前に十分な説明と操作に習熟する機会を設けますので、特別な準備は必要ありませんが、必ず予め通知する所定の期間内に課題に取り組んでください。

## 授業時間外学習にかかわる情報

目標とする語学力を身につけるには、授業に加えて受講生自身による事前・事後の学習を必要とします。授業の前に丁寧に辞書を引き、自分なりの解釈を試みる努力は特に大切です。

## 成績評価方法

平常点により成績を判定。

## 受講条件

基本的なフランス語の知識（「基礎フランス語1～4」修了程度）が必要。レベルが心配な場合はご相談ください。

「フランス言語文化基礎演習I」を受講している必要はありません（科目名のIやIIという数字は担当教員が異なることを示すための番号であり、履修の順序やレベルの違いを意味するものではありません）。

## 受講のルール

授業中に配付する資料を、次の回以降に受け取ることはできません。欠席などにより受け取らなかった場合、その週のうちに連絡し、次回の前までに取りに来ること。それができなかった場合は、他の受講生から借りるなどして自分で解決しなければなりません。

\*「授業のスケジュール」にも示した通り、本演習を履修するにあたっては、第2クォーターに開講される「フランス言語文化基礎演習II」（担当教員：柳）を同時に履修登録してください。連続受講することで完結する内容だからです。やむを得ない事情により、どうしても連続受講できない場合は、必ず事前に相談のこと。

## 教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-	ISBN	
	著者名		出版社	出版年

## 参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-	ISBN	
	著者名		出版社	出版年

## 教科書・参考書に関する補足情報

---

特定の教科書は用いず、適宜プリントを配付。仏和辞典が不可欠。

## オフィスアワー

---

木曜 14:30-15:30（時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前に連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します）

## Eメールアドレス

---

yanagi.mitsuko.mx@ehime-u.ac.jp

## 連絡先

---

柳研究室：法文本館 8 階 (801)

## 参照ホームページ

---

学習支援サイト（略称: AFA）をぜひ活用してください。  
<http://afa.ll.ehime-u.ac.jp>（「愛大」「AFA」で検索してもヒットします）

## その他

---

1 回生のときにフランス語を勉強した皆さんが、学習を積み重ねるのに適した授業です。